

伊藤雅俊と

セブン&アイグループの

業界・小売など一般的な歴史

1920-1957 草創

洋品店からの始まり

1920年 叔父吉川敏雄が台東区浅草に洋品店「羊華堂」(開店当初の店名は「めうがや」)を開業。その後4店舗まで増える。

1924年 4月 雅俊、父金子専蔵、母ゆきの子として、東京・目黒で生まれる(30日)。
1931年 雅俊、目黒「碑文谷の碑尋常小学校」入学。
1937年 雅俊、東京市立芝商業学校(現東京都立芝商業高校)入学。
1940年 兄譲のれん分けにより浅草に洋品店「羊華堂」を開業(90㎡、従業員10人)。(イトーヨーカ堂)
1942年 雅俊、横浜市立横浜商業専門学校(現横浜市立大学)入学。
1944年 3月 雅俊、20歳。専門学校を繰り上げ卒業。



関東大震災直後の浅草「めうがや洋品店」(1924年)

1945年8月/原子爆弾投下(広島6日、長崎9日)。第2次世界大戦終戦(15日)

1945年 1月 雅俊、陸軍へ入隊。
1945年 3月 浅草の店、戦火で焼失(イトーヨーカ堂)。
1945年 8月 雅俊、海上で訓練中に終戦を知る。部隊解散、復職。
1946年 12月 雅俊、三菱鉱業を退職。
1946年 1月 北千住にある「バ屋」(たぬきや)の店先(間口3間、2坪)を借りて洋品店を開業(イトーヨーカ堂)。
1947年 正札販売、薄利販売を実施し、お客様の支持を得る。
1948年 米田サウランド社、「ELEVEN」のロゴ使用を開始。千住に150坪の土地を得て、自前の店を持つ。
1948年 8月 合資会社羊華堂を設立(26日)。
1948年 8月 譲が代表社員で、雅俊は有責任社員。1号社員入社(イトーヨーカ堂)。
1952年 11月 雅俊、中村伸子と結婚(3日)。
1953年 教育、制服、勤務時間(2交代制)、休日など諸制度を整備(イトーヨーカ堂)。
1955年 9月 長男裕久(やすひさ)誕生。
1956年 7月 譲、逝去(44歳)。
雅俊がイトーカ堂の経営を継承。
千住店店舗拡張、売場面積40坪、従業員数40名、年商1億円を突破(イトーヨーカ堂)。



1950年代の千住店

1958年6月/岩戸景気(~1961年12月)

1958年 4月 (株)イトーカ堂を設立(1日)。
代表取締役社長・伊藤雅俊
クローバーをくわえた鳩のロゴマークを制定。
1960年 6月 次男順朗(じゅんろう)誕生。
8月 折り込みチラシによる販売促進を開始(イトーヨーカ堂)。
1961年 3月 社内公募により「誓いの言葉」制定(イトーヨーカ堂)。
雅俊、NCR主催の欧米視察団に参加。

1958-1972 チェーンストアの展開

鳩のマークのヨーカ堂

1954年11月/神武景気(~1957年6月)

1954年 11月 叔父吉川敏雄が台東区浅草に洋品店「羊華堂」(開店当初の店名は「めうがや」)を開業。その後4店舗まで増える。

1949年4月/1ドル360円の単一為替レートに(25日)

1949年 4月 叔父吉川敏雄が台東区浅草に洋品店「羊華堂」(開店当初の店名は「めうがや」)を開業。その後4店舗まで増える。

1948年3月/日本デパートメントストア協会(現日本百貨店協会)設立(16日)

1948年 3月 日本デパートメントストア協会(現日本百貨店協会)設立(16日)。

1956年/三種の神器(電気洗濯機、電気冷蔵庫、白黒テレビ)が普及

1956年 三種の神器(電気洗濯機、電気冷蔵庫、白黒テレビ)が普及。

1971年8月/米国、金とドルの交換を一時停止(ドル・ショック)(15日)。
12月/スミノアン合意(1ドル308円に)(18日)。

1971年 3月 鈴木敏文取締役、清水秀雄店舗企画部GM、アメリカ視察(10日~30日)。
1970年 4月 イトーヨーカ堂と紅丸商事の共同出資により(株)ヨークベニール設立。
11月 ヨーク薬品(株)設立。
代表取締役社長・伊藤雅俊
医薬品の卸売。
イトーヨーカ堂と紅丸商事の共同出資により(株)ヨークベニール設立。
清水秀雄店舗企画部GM、アメリカ視察(10日~30日)。



首都圏以外の地域への初出店となった郡山店(1969年)

1970年3月/大阪で日本万国博覧会開幕(15日)

1970年 3月 大阪で日本万国博覧会開幕(15日)。
1970年 4月 イトーヨーカ堂と福島県下のスーパー、ベニールの強固な関係は「お客様第一」という共通の理念から生まれた。
隔週5日制実施(イトーヨーカ堂)。
社員持株制発足(イトーヨーカ堂)。
ヨーク薬品(株)設立。
代表取締役社長・伊藤雅俊
医薬品の卸売。
イトーヨーカ堂と紅丸商事の共同出資により(株)ヨークベニール設立。
清水秀雄店舗企画部GM、アメリカ視察(10日~30日)。



電子計算機を使った事務処理を実施(1968年)

1966年3月/日本の総人口が1億人突破(31日)。
6月/ビートルズ初来日、日本武道館にて初公演

1966年 3月 日本デパートメントストア協会(現日本百貨店協会)設立(16日)。
1966年 6月 ビートルズ初来日、日本武道館にて初公演。
1967年 9月 衣料品初のプライベートブランド「YORK」(ヨーク)「販売開始(イトーヨーカ堂)」。
11月 (株)イトーヨーカ堂設立。
代表取締役社長・伊藤雅俊
食品を扱う。
(株)イトーヨーカ堂設立。
代表取締役社長・伊藤雅俊
子ども衣料や住居関連商品を扱う。
本部E D P室にコンピュータを設置(30日)(イトーヨーカ堂)。
1968年 1月 新鮮食品の仕入れ、加工などの集中処理を行う西新井センター開設(イトーヨーカ堂)。
店名表記を「イトーヨーカ堂」から「イトーヨーカ堂」へ変更(イトーヨーカ堂)。
1969年 4月 初のショッピングセンター型店舗として、イトーヨーカ堂大井店を開店(10日)。(イトーヨーカ堂)。
育英奨学生制度スタート(イトーヨーカ堂)。
ベニールとの共同出店となった東北初の店舗、郡山店開業(イトーヨーカ堂)。
イトーヨーカ堂と福島県下のスーパー、ベニールの強固な関係は「お客様第一」という共通の理念から生まれた。
隔週5日制実施(イトーヨーカ堂)。
社員持株制発足(イトーヨーカ堂)。
ヨーク薬品(株)設立。
代表取締役社長・伊藤雅俊
医薬品の卸売。
イトーヨーカ堂と紅丸商事の共同出資により(株)ヨークベニール設立。
清水秀雄店舗企画部GM、アメリカ視察(10日~30日)。



初のオリジナルブランド「YORK」(1967年)

1965年11月/いざなぎ景気(~1970年7月)

1965年 11月 いざなぎ景気(~1970年7月)。
1966年 6月 商号を「(株)伊藤ヨーカ堂」に変更(10日)(イトーヨーカ堂)。
9月1日より店名表記を「イトーヨーカ堂」に。
店舗は8店、年商100億円を突破。
社歌誕生(イトーヨーカ堂)。
お取引先との親睦団体「羊会」発足(イトーヨーカ堂)。
エディタール制導入(1日)(イトーヨーカ堂)。
人材育成係「エディタール」を各店に配属し、職場内教育(OJT)を徹底した。
1967年 9月 蒲田店で生鮮食品の販売開始(1日)(イトーヨーカ堂)。
初めての食料品売場「精肉、青果、惣菜、鮮魚」を地下に新設。
衣料品初のプライベートブランド「YORK」(ヨーク)「販売開始(イトーヨーカ堂)」。

1964年10月/東海道新幹線開業(1日)。
10月/東京夏季オリンピック開幕(10日)

1964年 10月 東海道新幹線開業(1日)。
10月 東京夏季オリンピック開幕(10日)。
1963年 9月 社内報「ヨーカ堂ニュース」創刊(15日)。
1964年 1月 第1回BMC(ベストメンバークラブ)賞授賞式を実施。年間を通じてしつけ、身だしなみと仕事の両面で模範となる社員を表彰。
雅俊、第2次欧米視察。
初のプライベートブランド商品である粉ジネスと砂糖を販売(イトーヨーカ堂)。
雅俊、紺綬褒章受章。



社内報「ヨーカ堂ニュース」9月15日創刊号(1963年)

1960年1月/日米新安保条約調印(19日)。
9月/カラーテレビ放送開始(10日)

1960年 1月 日米新安保条約調印(19日)。
9月 カラーテレビ放送開始(10日)。
1962年 4月 シスター制度導入(イトーヨーカ堂)。
新入社員の公私にわたる相談に応じる役職を新設。
伊藤不動産(株)設立。
ヨーカ堂への店舗賃貸業を行う。
1966年には火災保険代理店として各種損害保険の取り扱い開始。
社内報「ヨーカ堂ニュース」創刊(15日)。
1964年 1月 第1回BMC(ベストメンバークラブ)賞授賞式を実施。年間を通じてしつけ、身だしなみと仕事の両面で模範となる社員を表彰。
雅俊、第2次欧米視察。
初のプライベートブランド商品である粉ジネスと砂糖を販売(イトーヨーカ堂)。
雅俊、紺綬褒章受章。



チェーン化第1号店となった赤羽店(1961年)

歴史

※赤字は伊藤雅俊および伊藤家の出来事

1976年2月/ロッキード事件(4日)	1975年3月/山陽新幹線全線開通(10日) 11月/第1回先進国首脳会議(15日)	1974年1月/日中貿易協定調印 5月/日本消費者連盟結成	1973年10月/大規模小売店舗法公布(1日) (1974年3月1日施行)	1973年10月/第1次石油危機	1973年2月/円変動相場制へ移行完了(14日)	1972年/日本フランチャイズチェーン協会発足	1972年5月/沖縄、本土復帰(15日)	1972年2月/札幌冬季オリンピック開幕(3日)	1972年1月/日米繊維協定調印(3日)
---------------------	-----------------------------------------------	----------------------------------	------------------------------------------	------------------	--------------------------	-------------------------	----------------------	--------------------------	----------------------

1972年 2月・商品実験室(現QC部)設置(イトーヨーカ堂)
・産卵日入り卵を販売。新鮮な卵を提供することがお客様の信頼を得ることにつながった(イトーヨーカ堂)
4月 新シンボルマーク制定
「イトーヨーカドー」(イトーヨーカ堂)から「イトーヨーカドー」へ(1日)(イトーヨーカ堂)
5月・「ヨーク持株会」発足(イトーヨーカ堂)
・株「デイトリーフーズ(後アイワイフーズ)設立
9月・東京証券取引所第二部に上場(1日)
公募1株の発行価格は880円
(イトーヨーカ堂)
10月 社是制定(イトーヨーカ堂)
チキン・オレイン・システムなどに関する米国視察(15日)・(29日)
生産性の向上、技術改善、人材育成などをテーマに、鈴木敏文取締役以下3名がメーカ、レストランチェーンなどを視察
11月 (株)ヨークフードサービス(後ファミール)設立(21日)
代表取締役社長・伊藤雅俊

業界で初めて卵1個1個に産卵日を表記した「日付入り卵」の販売開始(1972年)



イトーヨーカ堂、東京証券取引所第二部に上場(1972年)



業界で初めて卵1個1個に産卵日を表記した「日付入り卵」の販売開始(1972年)

1973-1981

新業態への挑戦

セブン・イレブン誕生

1973年 1月 羊華堂の創業者吉川敏雄逝去(77歳)(29日)
3月 紅丸商事と業務提携(26日)
10月には商号を「ヨークベニマル」に変更
(1973年12月9日、1号店の浜田店(福島県福島市)をオープン)
4月 株主向け情報誌「イトーヨーカドー株主通信」創刊(1日)
5月・米国デニーズ社とライセンス契約(1日)
・松屋スーパードと業務提携(10日)
7月・株「ヨークマツザ設立(1日)
・東京証券取引所第二部に指定替え(2日)(イトーヨーカ堂)
8月 「ヨークショッピングスクエアテナント販売会」発足(イトーヨーカ堂)
10月・茨城ヨーク(株)(後ヨーク青果)設立(1日)

株主への情報提供の一環として、年2回発行(1973年)



株主への情報提供の一環として、年2回発行(1973年)

1974年 1月 電話回線を利用したEOS(電子発注システム)稼動(イトーヨーカ堂)
11月・株「デニーズジャパン(後セブン&アイフードシステムズ)設立(16日)
代表取締役社長・伊藤雅俊
(株)ヨークセブン
(現セブン・イレブンジャパン)設立(20日)
代表取締役社長・伊藤雅俊、専務取締役・鈴木敏文
・米国サウスランド社とエリアライセンス&ライセンス契約を締結(30日)
・米国サウスランド社のチェーンシステム研修のため第1陣出発
1974年 1月 雅俊、年頭あいさつで「1兆円企業」の実現を視野に入れ、MD、マネジメント体制の整備など「基礎固め」を指示
2月・1974年2月期において、売上高が初めて1000億円を突破(売上高1396億円)(28日)
(イトーヨーカ堂)
・消費者室(現お客様相談部)設置(イトーヨーカ堂)
4月 デニーズ1号店をイトーヨーカドー上大岡店内にオープン(27日)
5月 ヨークセブン、国内1号店となる
セブン・イレブン豊洲店(東京都江東区)をオープン(15日)
5月 ヨーク物産(株)(後セブン&アイフードシステムズ)設立(21日)
(1976年1月、せんげん台店にファストフードの店として「ポッポ」1号店をオープン)
6月・日経流通小売業ランキングで1975年2月期販売額が10位に(イトーヨーカ堂)
・ヨークセブン、セブン・イレブン虎丸店(福島県郡山市)で24時間営業を開始
11月 日本農水産(株)(後アイワイフーズ)設立(12日)
12月・株「ユニオナリス(後SEキヤピタル)設立(23日)
グループ内のリース需要に対応するために設立
・株「ヨークマート(現ヨーク)設立(25日)
代表取締役社長・伊藤雅俊
(1976年7月31日、1号店の勝田台店(千葉県八千代市)をオープン)

国内1号店となるセブン・イレブン豊洲店(1974年)

イトーヨーカドー上大岡店(神奈川県)にオープンしたデニーズ1号店(1974年)

米国サウスランド社とライセンス契約締結(1973年)



ヨークマート、1号店の勝田台店オープン(1976年)

1985年5月/男女雇用機会均等法成立(17日) (1986年4月1日施行) 9月/プラザ合意(22日) バブル景気の発端に	1985年4月/日本電信電話公社と日本専売公社が民営化され、NTTとJTが発足(1日)	1983年4月/東京ディズニーランド開園(15日)	1982年2月/全国スーパーマーケット協会設立	1980年2月/ダイエー、小売業界初の売上高1兆円	1978年11月/大規模小売店舗における小売業の事業活動の調整に関する法律及び小売商業調整特別措置法改正	1978年5月/新東京国際空港(現 成田国際空港)開港(20日)	1978年5月/日本小売業協会設立(15日)	1976年9月/通算省、商品・取引先コードをバーコードで統一	1976年7月/南北ベトナム統一。ベトナム社会主義共和国誕生
-------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------	---------------------------	-------------------------	---------------------------	------------------------------------------------------	----------------------------------	------------------------	--------------------------------	--------------------------------

1976年 2月 コンチネンタル預託証券を発行(28日)
(イトーヨーカ堂)
日本の流通業界初の海外での時価発行増資
5月 ヨークセブン、創業から2年でセブン・イレブン店舗、100店舗達成(30日)
日経流通小売業ランキングで1976年2月期の売上高が6位(前年10位)、伸び率が1位に(21日)
(イトーヨーカ堂)
7月 日本ソフトフーズ(株)(後アイワイフーズ)設立
麺類および加工食品の製造販売業
10月・株「ユニオン商事設立(18日)
損害保険代理業
3月・株「メリアン設立(1日)
ヤングミセスをメインターゲットに婦人服を展開
・IYグループ入社式(14日)
この年からグループ入社式として開催
7月 米国で、日本企業初の5000万ドル転換社債を発行(イトーヨーカ堂)
9月 (株)ヨーク警備設立(1日)
新潟県長岡市の百貨店、丸大と業務提携(1989年、子会社化)(24日)
12月 イトーヨーカ堂株式が東証、日証金より新貸借取引銘柄に選定(15日)(イトーヨーカ堂)
1月 ヨークセブン、社名を「株セブン・イレブン・ジャパン」へ変更(31日)
2月 セブン・イレブンジャパン、代表取締役会長に伊藤雅俊社長が、伊藤雅俊社長が、代表取締役社長に鈴木敏文専務がそれぞれ就任(20日)
5月 雅俊、日本チェーンストア協会会長に就任(18日)
6月 セブン・イレブンジャパン、米国サウスランド社とのエリアサービスおよびライセンス契約に関する当事者の地位をイトーヨーカ堂から継承
7月 米国で「無担保無保証普通社債」発行(12日)
(株)ヨークマツザカヤ設立(2日)
代表取締役社長・伊藤雅俊
2月7日に名古屋の松坂屋と業務提携し新札幌松坂屋に

米国で、日本企業初の5000万ドル転換社債を発行(1977年)

ヨークセブン、創業から2年で100店舗達成(1976年)



米国で、日本企業初の5000万ドル転換社債を発行(1977年)



ヨークセブン、創業から2年で100店舗達成(1976年)

1980年 2月・デニーズ、100店舗達成(13日)
同月、年間来店客数も1000万人突破
・1980年2月期税引後純利益額が小売業界で三越を抜き日本一に(イトーヨーカ堂)
5月 イトーヨーカドーグループの呼称を「IYグループ」に変更(1日)
グループロゴも制定した
7月 クワエイトで50億円の円建て私募債発行(8日)
(イトーヨーカ堂)
10月 日本企業初の海外における円建て転換社債を発行
松戸店をオープンし、イトーヨーカドー100店舗に(8日)
(イトーヨーカ堂)
11月 ヨークベニマル、東京証券取引所第二部に上場(27日)
セブン・イレブン店舗、1000店舗達成(30日)
(株)ステップス設立(23日)
代表取締役社長・伊藤雅俊
イトーヨーカドーの紳士カジアルシヨブ「ダンロイヤル」が発展的に独立
団塊の世代を中心にアメリカカンカジュアルの定着を図る
2月・1981年2月期経常利益が229億6700万円で三越を抜き、通期決算で初の経常利益日本一に(28日)(イトーヨーカ堂)
・デニーズ、代表取締役会長に伊藤雅俊社長が、代表取締役社長に田村節男がそれぞれ就任
7月・ドル建て転換社債6000万ドル発行(8日)(イトーヨーカ堂)
・冠生園、IYグループへインシヨブとして餃子をメインに中華惣菜の製造と販売を展開
8月 セブン・イレブンジャパン、東京証券取引所第一部に指定替え(1日)
9月 仏パリ証券取引所に上場(16日)(イトーヨーカ堂)
毎週月曜日の店長会議スタート(イトーヨーカ堂)
本部と店舗間のコミュニケーションの確立を図る

1993年6月／皇太子(当時)浩宮徳仁親王と小和田雅子さん御成婚(9日)	1991年4月／再生資源の有効な利用の促進に関する法律(リサイクル法)公布(26日)(10月25日施行)	1991年1月／湾岸戦争勃発(17日)(2月28日終結)	1989年11月／ベルリンの壁崩壊(9日) 1990年10月／東西ドイツ統一(3日)	1989年4月／消費税(3%)導入(1日)	1989年1月／昭和天皇崩御(7日) 1月／皇太子明仁親王が即位し「平成」と改元(8日)	1988年／牛肉・オレンジ交渉妥結、1991年から輸入自由化	1988年3月／青函トンネル開業(13日) 3月／東京ドーム完成(17日)	1987年9月／東北自動車道全線開通(9日)	1987年7月／世界人口50億人突破(11日)	1987年4月／国鉄分営民営化でJR発足(1日)
--------------------------------------	------------------------------------------------------	------------------------------	-----------------------------------------------	-----------------------	-------------------------------------------------	--------------------------------	------------------------------------------	------------------------	-------------------------	--------------------------

1982-1990

業務改革の始まり

成熟社会への対応

- 1989年 1月 ゆき、逝去(89歳)
- 2月 第1回「業務改善プロジェクト」を設置(8日)(イトーヨーカ堂)
- 1983年2月「業務改善委員会」、1984年1月「業務改革委員会」へ名称変更
- 3月 全店にバックルームPOSシステム導入開始(1日)(イトーヨーカ堂)
- 10月 セブン・イレブンジャパン、全店へPOSシステム導入開始
- 11月「グループ報」ぐるーぷ「IY」創刊(1日)
- デニーズ、東京証券取引所第二部に上場(29日)
- 1983年 1月 経営方針説明会を実施し、「変化への対応と基本の徹底」をスローガンに掲げる(本部講堂、400名参加)(10日)(イトーヨーカ堂)
- 11月 IYグループ全体の状況を伝える「IYグループ四季報」を創刊(1日)
- 12月 米国スポーツ専門店チェーン、オシマンズ社と業務提携(19日)
- 2月 セブン・イレブン店舗、2000店達成(29日)
- 4月 雅俊、60歳。還暦
- 8月 業務改革7つのフェーズを発表(イトーヨーカ堂)
- 9月 ヨーベニール、東京証券取引所第一部に指定替え
- 9月 第1回IYグループ経営方針説明会を実施(14日)
- 10月 (株)ロビンソンジャパン設立(31日)
- 代表取締役社長・伊藤雅俊
- ニューパートナーメントへの事業展開を開始
- 12月 (株)オシマンズジャパン設立(6日)
- 代表取締役社長・伊藤雅俊
- 本格的な総合スポーツ用品販売の専門店事業を開始
- 1985年 2月 1985年2月期IYグループ連結決算で営業収益1兆円を突破



セブン・イレブン、全店へPOSシステム導入開始(1982年、第2次総合店舗情報システム)

「業務改善プロジェクト」スタート。毎週1回幹部社員を集め、ダイレクトコミュニケーションを実施



各社社内報を統合し、グループ報「ぐるーぷIY」を創刊(1982年)



各社のトビックスを映像で紹介するビデオ社内報「スタジオぐるーぷIY」を創刊(1985年)

- 1987年 2月 IYグループ多摩研修センター(東京都多摩市)開設(7日)
- 1987年 2月 1987年2月期連結決算で税前利益1000億円突破(28日)(イトーヨーカ堂)
- 3月 国内格付け3機関から日本初の「AAA」を取得(12日)(イトーヨーカ堂)
- 1988年 2月 1988年2月期単体の売上高が1兆円を突破(12日)(イトーヨーカ堂)
- 1989年 11月 SEVEN-ELEVEN(HAWAII, INC.)設立(30日)
- 1990年 3月 デイリーフーズと冠生園が合併、アイワイフーズ(株)設立(1日)
- 7月 環境問題への取り組みスタート(イトーヨーカ堂)
- 1991年2月には環境開発プロジェクトを発足、4月にはグループ各社で「エコライフしましょ。」キャンペーンを開始
- 資源のリサイクル、買物袋の削減、トレイの回収などの活動が始まった
- 次男 順朗、三井信託銀行を退職し、セブン・イレブンジャパンへ入社
- 1991年 2月 IYグループ各社で「リチャレンジプラン」スタート(1日)
- 出産予定日現在、勤続3年以上の女性社員を対象に、仕事と育児の両立を可能にする育児勤務、育児休暇、再雇用の3つのプランを作成
- 3月 イトーヨーカ堂とセブン・イレブンジャパンの協力により米国サウスランド社の再建スタート(5日)
- 4月 日本盲導犬協会の募金活動スタート(1日)(イトーヨーカ堂)
- 11月 IYグループ各社間の人材公募制度スタート
- 2月 雅俊、毎日新聞社主催「第12回毎日経済人賞」を受賞(12日)
- 1992年 2月

1991-2004

海外展開の始まり

顧客満足の追求



イトーヨーカ堂、公共料金収納代行サービスをスタート(1987年)

2001年9月／米国で同時多発テロ事件発生(11日)	2000年6月／食品リサイクル法公布(7日)(2001年5月11日施行)	2000年4月／介護保険制度開始。40歳以上の国民からの保険料徴収を開始	1999年1月／欧州連合(EU)の単一通貨「ユーロ」導入(1日) 6月／男女共同参画社会基本法(23日)	1998年／長野冬季オリンピック(2月7日)・パラリンピック(3月5日)開幕	1997年／総務庁、65歳以上の高齢者が14歳未満の子どもの数を上回ったと発表	1997年／米国ウォルマート、世界の小売業で初めて年間売上高1,000億ドルに	1997年4月／消費税の税率、3%から5%に引き上げ(1日)	1995年1月／世界貿易機関(WTO)発足(1日) 1月／阪神・淡路大震災発生(17日) 3月／地下鉄サリン事件(20日)	1993年9月／政府、米不足対策として緊急輸入の方針決定(30日)
----------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------------------------------	----------------------------------------	-----------------------------------------	-----------------------------------------	--------------------------------	---------------------------------------------------------------------	-----------------------------------

- 1993年 2月 介護制度、ボランティア休暇制度スタート(1日)
- 5月 雅俊、米国クレアモント大学院大学より、法学博士号を贈られる(15日)
- 9月 イトーヨーカ堂、セブン・イレブンジャパン、ヨークベニールが東京証券取引所から「第1回株主重視企業」として表彰(14日)
- 10月 雅俊、イトーヨーカ堂 取締役相談役に就任
- 2月 介護制度、ボランティア休暇制度スタート(1日)
- 5月 雅俊、米国クレアモント大学院大学より、法学博士号を贈られる(15日)
- 初的女性役員誕生(27日)(イトーヨーカ堂)
- 7月 ヨークインジュテランズエージェンシー、IYグループ社員の各種団体保険業務スタート(1日)
- 11月 セブン・イレブンジャパン、創業20周年記念事業としてセブン・イレブンみどりの基金(現セブン・イレブン記念財団)設立(20日)
- 12月 米国サウスランド社、IYグループの再建のもとで通期で初めて黒字化
- 3月(株)テルベ設立(1日)
- 伊藤謝恩育英財団を設立(15日)
- 雅俊、理事長に就任
- 奨学生を募集し、学費支援を行う
- 4月 雅俊、70歳。古希
- ノーマライゼーション推進モデル1号店の和光店(埼玉県和光市)をオープン(1日)(イトーヨーカ堂)
- 初めとなるグループマーチャндаイジング(MD)商品を発売(18日)
- 6月 発注端末機「GOT」導入開始(イトーヨーカ堂)
- 手元のGOT(グラフィックオーダーターミナル)上の情報を見ながら、売場で仮説に基づいた発注が可能に
- (株)芝バーク出版(後セブン&アイ出版)設立(31日)
- 49店舗で元日営業を開始(イトーヨーカ堂)
- 翌年ヨークベニール、ヨークマートでも元日営業を開始
- 2月 雅俊、イトーヨーカドーグループ名誉会長
- イトーヨーカ堂、セブン・イレブンジャパン、デニーズジャパン 取締役名誉会長に就任(27日)
- 中国に成都伊藤洋華堂有限公司(日本名:成都イトーヨーカ堂)設立(25日)
- 12月 中国に成都伊藤洋華堂有限公司(日本名:成都イトーヨーカ堂)設立(25日)
- 2月 セブン・イレブンジャパン、1997年2月期決算で小売業界初の経常利益1000億円突破
- デニーズ年間来店客数1億人突破
- 9月 華糖ヨーカ堂有限公司設立(29日)
- 11月 成都イトーヨーカ堂、1号店の春熙店(中国四川省)オープン(21日)
- 1998年 1月 雅俊、全米小売業協会「国際賞」を受賞(21日)
- 4月 華糖ヨーカ堂、1号店の十里堡店(北京市朝阳区)オープン(28日)
- 1999年 2月 1999年2月期の連結営業収益3兆2670億円がダイエーを抜き小売業日本一に(イトーヨーカ堂)
- 5月 米国サウスランド社、社名を「FEVEN, Inc.」に改称(1日)
- 7月 雅俊、研究支援の財団「ITOH Foundation U.S.A」を米国に設立
- 2000年 2月 (株)セブンドリーム・ドットコム設立(1日)
- 7月 「FEVEN, Inc.」ニューヨーク証券取引所に13年ぶり再上場(7日)
- 8月 (株)セブン・ミールサービス設立(7日)
- 11月 ユニバーサルデザインによる店舗づくり1号店となる本場店オープン(16日)(イトーヨーカ堂)
- 2001年 2月 セブン・イレブンジャパン、2001年2月期のチェーン全店売上高が2兆466億4000万円が、ダイエーを抜いて小売業トップに
- 3月 葛西店でインターネットスーパー「アイワイネット」をスタート(1日)(イトーヨーカ堂)
- 4月 (株)アイワイバンク銀行(現セブン銀行)設立(10日)
- アイワイバンク銀行、ATMサービス開始(15日)
- アイワイバンク銀行、ATM設置台数が1000台を突破(13日)
- 8月 セブン・イレブンジャパン、保存料・合成着色料(着色料のうち指定添加物)を使用しない、商品品を販売食への安全・安心の意識の高まりに応え、業界で初めて米飯調理パン惣菜調理麺にて実施
- (株)アイワイカードサービス(現セブンカードサービス)設立(31日)
- 11月 イトーヨーカドーで初の女性店長誕生
- 既成の売り方を脱する店舗運営の「環」として大手スーパーでは初の試み
- アイワイフーズ、日本農水産、ヨーク青果が合併し、アイワイフーズ(株)設立(1日)
- 2002年 3月



ポイント機能とクレジット機能あわせ持つアイワイカード(2001年)



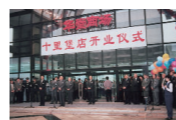
オリジナル商品から保存料・合成着色料の排除を実施(2001年)



流通業界初の銀行、(株)アイワイバンク銀行設立。5月よりATMサービスをスタート(2001年)



グループMDによる開発商品第1号の衣料用洗剤「シュート」と、グローバル開発商品の先駆となった「クラシック・セレクション・コーラ」(1994年)



北京に「華糖ヨーカ堂」1号店の十里堡店オープン(1998年)

2009年5月／裁判員制度がスタート(21日) 9月／消費者庁が発足(1日)	2007年／食品小売業、外食産業における取り組みの促進を図る改正食品リサイクル法が成立、施行	2007年10月／郵政民営化(1日)	2006年9月／酒類販売への新規参入が完全自由化	2006年2月／厚生労働省、出生数が死亡数を下回り、人口動態統計開始以来初の人口自然減と発表(21日)	2005年2月／国際的に温室効果ガス排出量削減を規定した唯一の枠組み「京都議定書」発効(16日)	2004年12月／スマトラ島沖地震発生(26日)	2003年12月／米国で初のBSE感染牛発見。米国からの牛肉輸入を緊急停止	2003年12月／テレビの地上波デジタル放送が東京、大阪、名古屋の3大都市圏の一部でスタート(1日)	2002年5月／日韓共催FIFAワールドカップ開催(31日)	2002年5月／日本経済団体連合会発足(28日)
-------------------------------------------	------------------------------------------------	--------------------	--------------------------	-----------------------------------------------------	--------------------------------------------------	--------------------------	---------------------------------------	----------------------------------------------------	--------------------------------	--------------------------

2005・2010

新・総合生活産業へ セブン&アイHLDGS.設立

2005年

3月 (株)モル・エスシー開発 (現セブン&アイ・クリエイション)設立(9日)

4月 (株)IYG生活デザイン研究所設立(1日)

衣料事業部と連携して、商品開発から販売までライフスタイルをとらえたトータルなマナダインジキングの推進を目指す

・アイワイバンク銀行、ATMの設置台数が1万台突破(4日)

・雅俊、7-Eleven, Inc. 再建の功績により、米国の「サン&スター・レガシー賞」を受賞(21日)

9月 (株)セブン&アイHLDGS.設立
雅俊、名誉会長就任(1日)

2006年

2月 セブン&アイHLDGS.、2006年2月期決算で営業利益が過去最高に

3月 セブン&アイHLDGS.初の合同入社式(9社1113名)(2日)

・セブン銀行、2006年3月期決算で経常利益が過去最高に

・累積赤字を解消し初めて配当実施へ

6月 ミレニウムリテイリング(現そごう・西武)、株式交換方式によりセブン&アイHLDGS.の完全子会社化

9月 ヨークベニマル、株式交換によりセブン&アイHLDGS.の完全子会社に(1日)

11月 セブン銀行、ネット決済サービス開始(20日)

11月 (株)セブン&アイロードシステムズ設立(10日)

デニーズジャパン、ファミール、ヨーク物産の3社を統合

3月 ミレニウムリテイリングが(株)ロフトを子会社化

4月 独自の電子マネー

「nanaco(ナナコ)」導入開始

5月 グループ共通のプライベートブランド商品「セブンプレミアム」発売開始

7月 イトーヨーカ堂が(株)赤ちゃん本舗を子会社化

横浜市立大学で、「伊藤雅俊奨学金制度」が始まる

1月 (株)セブン&アイフィナンシャルグループ(現セブンフィナンシャルサービス)設立

4月 セブン・イレブン(中国)投資有限公司設立

7月 (株)セブン&アイネットメディア設立

8月 農業生産法人(株)セブンファーム富里設立

1月 (株)セブンカルチャーネットワーク設立

8月 (株)そごう・西武設立

12月 ミレニウムリテイリング、そごう・西武百貨店を合併

12月 びあ(株)と業務資本提携



流通業界初の電子マネー「nanaco」がスタート(2007年)



ヨークベニマル子会社化。グループの食品スーパー事業の業務統合を推進(2006年)



(株)セブン&アイHLDGS.設立。「新・総合生活産業」誕生へ。新ロゴは、7つの主要事業とイノベーションのほを組み合わせたもの(2005年)



都市型ショッピングセンター「アリオ」1号店、アリオ蘇我をオープン(2005年)

2003年

3月 アイワイバンク銀行、ATM設置台数が5000台を突破(24日)

4月 日通システム開発、浦和ビルディング、ワイアール開発の3社が合併し、(株)IYリアルエステート設立

5月 アイワイバンク銀行、日本郵政公社とのATM提携開始(19日)

・初めて自社株買いを実施(25日)(イトヨーカ堂)

・米国NASDAQへの上場を廃止(30日)(イトヨーカ堂)

8月 セブン・イレブン店舗、1万店達成(31日)

1月 セブン・イレブン北京有価会社を設立(2日)

1号店となる東直門店(中国北京市)を4月15日にオープン

3月 アイワイバンク銀行、2004年3月期決算で黒字化

5月 アイワイバンク銀行、北海道でATMサービス開始

全国でATM設置台数が8000台を突破(17日)

・雅俊、取締役退任(27日)(イトヨーカ堂)

・米国クレアモント大学院大学のドラッカースクールに雅俊の名が加わる

2002年

5月 「顔が見える野菜。」の販売を開始(イトヨーカ堂)

11月 雅俊、伸子、結婚50年。金婚式

3月 アイワイバンク銀行、ATM提携開始(19日)

4月 日通システム開発、浦和ビルディング、ワイアール開発の3社が合併し、(株)IYリアルエステート設立

5月 アイワイバンク銀行、日本郵政公社とのATM提携開始(19日)

・初めて自社株買いを実施(25日)(イトヨーカ堂)

・米国NASDAQへの上場を廃止(30日)(イトヨーカ堂)

8月 セブン・イレブン店舗、1万店達成(31日)

1月 セブン・イレブン北京有価会社を設立(2日)

1号店となる東直門店(中国北京市)を4月15日にオープン

3月 アイワイバンク銀行、2004年3月期決算で黒字化

5月 アイワイバンク銀行、北海道でATMサービス開始

全国でATM設置台数が8000台を突破(17日)

・雅俊、取締役退任(27日)(イトヨーカ堂)

・米国クレアモント大学院大学のドラッカースクールに雅俊の名が加わる

食に対する安全・安心を求める声に応え、生産者、生産、流通履歴などの確認が可能に(2002年)



2021年／東京夏季オリンピック(7月23日)・パラリンピック(8月14日)開幕 2022年9月／英国エリザベス女王逝去(8日)	2020年7月／プラスチック製レジ袋の有料化がスタート(1日)	2020年1月／世界保健機関(WHO)が新型コロナウイルスに関する「国際的な緊急事態」を宣言(30日)	2020年1月／日米貿易協定が発効(1日)	2019年10月／消費税率が8%から10%へ。同時に消費税の軽減税率制度を実施(1日)	2019年5月／皇太子徳仁親王殿下が天皇陛下に即位。元号を「令和」に改元(1日)	2017年7月／国連で核兵器禁止条約が採択(7日)(2021年1月22日発効)	2016年3月／北海道新幹線開業(26日)	2016年1月／マイナンバー制度が運用開始	2015年6月／選挙権年齢を「満18歳以上」にする改正公職選挙法が公布(2016年6月19日施行)	2014年12月／特定秘密保護法が施行(10日)	2011年3月／東日本大震災発生(11日)
---------------------------------------------------------------------	---------------------------------	-----------------------------------------------------	-----------------------	---------------------------------------------	------------------------------------------	-----------------------------------------	-----------------------	-----------------------	---------------------------------------------------	--------------------------	-----------------------

2011・

持続可能な未来へ 社会的な価値の創造

2010年

2月 セブン・イレブン店舗でマルチコピー機による「住民票の写し」「印鑑登録証明書」発行の行政サービス開始

3月 タワレコード(株)に資本参加

・一般財団法人セブン・イレブン記念財団を設立

「セブン・イレブンみどりの基金」の業務を移行

7月 農業生産法人(株)セブンファーム設立

8月 譲の妻、伊藤せき、逝去(89歳)

9月 「セブンプレミアム」のワンランク上の商品群「セブンプレミアムゴールド」誕生

12月 セブン・イレブン成都有限公司設立

2011年

5月 セブン・イレブンジャパン、移動販売車「セブンあんしんお届け便」スタート

12月 セブン銀行、東京証券取引所第一部に上場

2012年

3月 グループの研修施設、伊藤研修センターが完成

故・伊藤せき(譲の妻)と家族、雅俊らが寄贈

4月 雅俊、88歳。米寿

・東京大学に社会連携拠点、伊藤国際学術研究センターが完成

雅俊、伸子が寄贈

7月 セブン・イレブンで超小型電気自動車による「セブンらくらくお届け便」開始

2013年 1月 グループ報「セブン&アイ」創刊

・セブン・イレブン店舗に「SEVEN CAFE(セブンスカフェ)」を販売開始

「2013年日経優秀製品サービス賞」

日本経済新聞賞において最優秀賞を受賞

7月 (株)ダイイチと業務資本提携

12月 (株)ニッセンホールディングスと業務資本提携

イトヨーカ堂が(株)天満屋ストアと資本提携、セブン&アイHLDGS.が

(株)天満屋ストアおよび(株)天満屋と業務提携

(株)パルス(現 Franchant)と業務・資本提携

伊藤謝恩育英財団が公益財団法人となる

雅俊、90歳。卒寿

・伊藤謝恩育英財団、創立20周年



セブン・イレブン、沖縄県に初出店、那覇市ほかに14店オープン(2019年)



セブン・イレブン、2万店記念式典(2018年)

店頭で一杯ずつドリップするコーヒーが手軽な価格で飲めると大人気商品に(2013年)

